

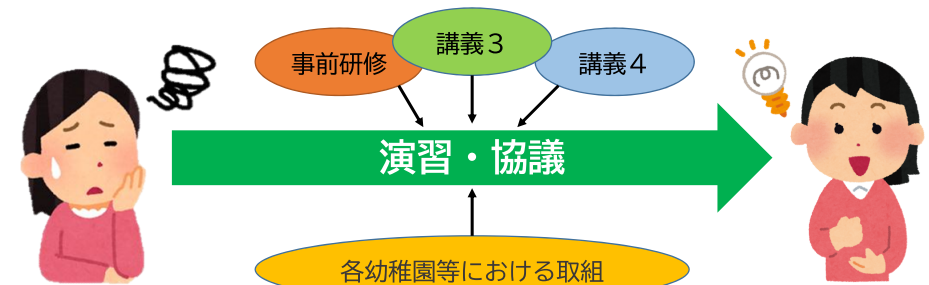
演習・協議 「幼児の立場に立った指導や支援 の充実に向けて」

令和6年（2024年）10月11日（金）14:50～16:20
北海道立特別支援教育センター
研究員（肢体不自由・病弱教育室）西 山 雄 基

1

本演習・協議の目的

- 困難さの背景要因に目を向けた上で、幼児の特性に応じた指導や支援方法を検討する。



2

内容

- 1 背景要因に目を向けた指導・支援
- 2 演習・協議の進め方
- 3 演習・協議
- 4 全体交流
- 5 まとめ

3

- 1 背景要因に目を向けた指導・支援

4

(1) 特別な教育的支援を必要とする幼児の有無

項目	種別	年度	幼稚園 (n=17,910人)	小学校 (n=123,048人)	中学校 (n=67,569人)	高等学校 (n=72,327人)	全体 (n=280,854人)
要支援者数		R5	1,707人	12,132人	2,510人	732人	17,081人
		R4	1,587人	11,289人	2,179人	585人	15,640人
		R3	2,240人	10,146人	1,966人	643人	14,993人
		R2	2,128人	9,995人	1,838人	728人	14,689人
		R1	1,752人	11,031人	2,412人	809人	16,004人
		H30	615人	9,832人	2,114人	745人	13,306人
在籍者数(n)に 占める割合		R5	9.5%	9.9%	3.7%	1.0%	6.1%
		R4	7.4%	8.8%	3.1%	0.8%	5.3%
		R3	6.7%	7.7%	2.7%	0.8%	4.8%
		R2	6.1%	6.9%	2.4%	0.9%	4.3%
		R1	6.5%	7.4%	3.1%	0.9%	4.7%
		H30	8.0%	6.5%	2.6%	0.8%	4.1%

(nは在籍者数)

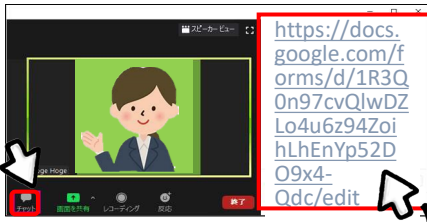
「令和5年度（2023年度）『特別支援教育体制整備に関する調査』の結果」
北海道教育庁学校教育局特別支援教育課（令和6年）

5

○ Googleフォームによるアンケート

Q. 現在、気になる子どもの指導についてどのような課題を感じていますか？

PCの方



チャットに送付したURLをクリックし、回答してください。

スマートフォン等の方



各自のスマートフォン等で読み取り、回答してください。

6

演習2 ちょっと気になる行動の背景要因の理解

Q. 困った行動には、どのような背景要因が考えられますか？

60秒

友達をいきなり叩いて泣かせた



<考えられる背景要因>

「保育園・幼稚園のちょっと気になる子」中川 信子（ぶどう社）

7

(2) 行動を分析的に見ること

◇ なぜそうした行動が起こるのか

生理的な要因、心理的な要因、環境的な要因など、思いつく限りあげてみる。その原因は推論に過ぎないということを忘れずに。

◇ どのような対応が考えられるか

上記であげた項目について、**可能な対応をなるべく多く**考えてみる。



- ・睡眠時間を確認する。
- ・相手の子どもに優しい言い方を教える。
- ・気持ちの伝え方を教える。
- ・登園時間を10分早める。
- ・友達の気持ちを教える。 など

「保育園・幼稚園のちょっと気になる子」中川 信子（ぶどう社）

8

(3) 子どもの特徴を理解して置かれた状況を想像する

大切なのは「〇〇障がいのある子はこうだ」と決めつけたり、特定の指導法を当てはめたりしない。



- ・障がいによる困難さを知ること。
- ・子どもの困難さは一人一人違うことを踏まえること。



子どもの特徴や特性から行動の背景を想像し、手立てを工夫する。

「気になる子の視点から保育を見直す」久保山茂樹（学事出版）

9

2 演習・協議の進め方

10

【協議の柱】

特別な教育的支援を必要とする幼児の特性に応じた指導・支援について

11

(1) 演習・協議の流れ（A～Oグループ）

<事例①>

15:05～15:08 ステップ1 個人思考（3分間）

- ・演習・協議シートに記入

15:08～15:28 ステップ2 グループ協議(20分間)

- ・自己紹介
- ・記入した内容の交流・協議

15:28～15:31 ステップ3 個人思考（3分間）

- ・協議で気付いたこと等を記入

<事例②>

15:35～16:05 ステップ1～3繰り返し

16:05～16:10 ステップ4 全体交流（5分間）

16:10～16:20 ・まとめ

12

(2) 演習・協議シートの説明

事例1 落ちるアキくん

① 困難さがある子どもの実態

5歳のAくんは、来年小学校入学を控えた年長さんです。落ち書きがなく、先生がみんなにお話をしているときも、うろうろ立ち歩いています。着席を促すと、一旦座りますが、またすぐに立ち歩きます。また、先生の話をさえぎり、「それ知ってるよ！○○のことでしょ。」などと断り込んでくることもあり、周りのお友達もうんざり...

小学校入学を控えているので、先生も少し厳しく対応する必要があると感じており、「ちゃんとお話を聞けなさいと小学校に行けないよ！とみんなに聞こえる声で注意をします。」

すると、みるみるうちに顔を赤らめ、先生に向かって「ぶん殴ってやる！」と近くにあったほうきを持って振り回します。こうした話を聞いたお母さんは、大好きな動画を禁止にします。

また、よく動き回る時には動きがぎくしゃくしており、運動会のダンスの練習では、示しても、みんなと同じようには動けません。次第に、運動会の練習になるにつれて、他の子を突き飛ばしたりするようになりました。

② 背景にある要因(つまづき、困難さ)

個人で考えたこと	グループ内で交流したこと
③ 困難さに対する指導や支援、必要な配慮事項	個人で考えたこと
④ 気づいたこと、参考になったこと、今後取り組みたいこと	グループ内で交流したこと

<ステップ1>個人思考
「背景要因と指導や支援、必要な配慮事項」を記入する。

<ステップ2>グループ協議
「各自が考えたこと」をグループ内で交流・協議する。

<ステップ3>個人思考
「気づいたこと、参考になったこと、今後取り組みたいこと」を記入する。

13

ステップ1 背景要因と対応策の検討

② 背景にある要因(つまづき、困難さ)

個人で考えたこと	グループ内で交流したこと
箇条書きで記入する。	
思いついたことをできるだけ多く記入する。	

<ステップ1>個人思考(3分間)

- ①事例1のエピソードを読む。
- ②困った行動についての背景要因を考える。
- ③背景要因を踏まえて、必要な支援や配慮事項を書く。



14

ステップ2・3 協議と個人のまとめ

<ステップ2>グループ協議(20分間)

- ・司会を決める
- ・自己紹介をする
- ・「各自が考えたこと」をグループ内で交流・協議する。

グループ内で交流したこと

自分と異なる視点をメモする。

参考になったことをメモする。

<ステップ3>個人思考(3分間)

「気づいたこと、参考になったこと、今後取り組みたいこと」を記入する。

15

事例1 ステップ1 背景要因と対応策の検討

事例2 ステップ2・3 協議と個人のまとめ

ステップ4 全体交流

◆ 2グループから1人ずつ発表(1グループ2分間)

- ・ステップ2で協議した背景要因と対応策
- ・ステップ3に記入した、個人のまとめ
- ・情報交換する中で参考になった取組 など



16

3 演習・協議

20

事例1

落ち着かないAくん

状況

5歳のAくんは、来年小学校入学を控えた年長さんです。落ち着きがなく、先生がみんなにお話をしているときも、うろうろ立ち歩いています。着席を促すと、一旦座りますが、またすぐに立ち歩きます。また、先生の話さえぎり、「それ知ってるよ！〇〇のことでしょ。」などと割り込んでくることもあり、周りのお友達もうんざり…

小学校入学を控えているので、先生も少し厳しく対応する必要があると感じており、「ちゃんとお話を聞かないと小学校に行けないよ！」とみんなに聞こえる声で注意をします。

すると、みるみるうちに顔を赤らめ、先生に向かって「ぶん殴ってやる！」と近くにあったほうきを持って振り回します。

こうした話を受けたお母さんは、大好きな動画を禁止にします。また、よく動き回る割には動きがぎくしゃくしており、運動会のダンスの練習では、先生が手本を示しても、みんなと同じようには動けません。次第に、運動会の練習になると飛び出し、教室に戻ったり、他の子を突き飛ばしたりするようになりました。

「幼稚園・保育園児 集団生活で気になる子供を支える」野邑 健二

18

事例1

落ち着かないAくん

<ステップ3>個人思考（3分間）

「気付いたこと、参考になったこと、今後取り組みたいこと」を記入する。

④ 気付いたこと、参考になったこと、今後取り組みたいこと

19

事例2

トイレに行けないBちゃん

状況

Bちゃんは、年中さんの女の子です。普段は明るく、好きなアニメのキャラクターになりきって遊ぶことが大好きです。毎日楽しく、園での生活を過ごしています。

少し気になることとして、幼稚園にいる間はトイレに行くことはほとんど無く、遠足等の行事の前にトイレにいくよう促しても、「イヤ！」と頑なにトイレにいくことを拒むことがあります。

保護者にこのことを伝え、「家では、自分でトイレに行くことができますし、出先でも特に嫌がることはないですね・・・」と返事がありました。

一度先生が抱っこをしながらトイレに向かってみたのですが、入り口の前で泣きながら、嫌であることを伝えていました。

なぜ、園のトイレだけ行けないのでしょうか・・・

20

事例2

トイレに行けないBちゃん

<ステップ3>個人思考（3分間）

「気付いたこと、参考になったこと、今後取り組みたいこと」を記入する。

④ 気付いたこと、参考になったこと、今後取り組みたいこと

21

4 全体交流

22

事例1

ステップ1 背景要因と対応策の検討

事例2

ステップ2・3 協議と個人のまとめ

ステップ4 全体交流

◆ 4グループから1人ずつ発表（1グループ2分間）

- ・ステップ2で協議した背景要因と対応策
- ・ステップ3に記入した、個人のまとめ
- ・情報交換する中で参考になった取組 など



23

5 まとめ

24

事例1

落ち着かないAくん

状況

5歳のAくんは、来年小学校入学を控えた年長さんです。落ち着きがなく、先生がみんなにお話をしているときも、うろうろ立ち歩いています。着席を促すと、一旦座りますが、またすぐに立ち歩きます。また、先生の話さえぎり、「それ知ってるよ！〇〇のことでしょ。」などと割り込んでくることもあり、周りのお友達もうんざり…

小学校入学を控えているので、先生も少し厳しく対応する必要があると感じており、「ちゃんとお話を聞けないと小学校に行けないよ！」とみんなに聞こえる声で注意をします。

すると、みるみるうちに顔を赤らめ、先生に向かって「ぶん殴ってやる！」と近くにあったほうきを持って振り回します。こうした話を受けたお母さんは、大好きな動画を禁止にします。

また、よく動き回る割には動きがぎくしゃくしており、運動会のダンスの練習では、先生が手本を示しても、みんなと同じようには動けません。次第に、運動会の練習になると飛び出し、教室に戻ったり、他の子を突き飛ばしたりするようになりました。

「幼稚園・保育園児 集団生活で気になる子供を支える」野邑 健二（明石書店）

25

事例2

トイレに行けないBちゃん

状況

Bちゃんは、年中さんの女の子です。普段は明るく、好きなアニメのキャラクターになりきって遊ぶことが大好きです。毎日楽しく、園での生活を過ごしています。

少し気になることとして、幼稚園にいる間はトイレに行くことはほとんど無く、遠足等の行事の前にトイレに行くよう促しても、「イヤ！」と頑なにトイレに行くことを拒むことがあります。

保護者にこのことを伝えると、「家では、自分でトイレに行くことができますし、出先でも特に嫌がることはないですね・・・」と返事がありました。

一度先生が抱っこをしながらトイレに向かってみたのですが、入り口の前で泣きながら、嫌であることを伝えていました。

なぜ、園のトイレだけ行けないのでしょうか・・・

26

まとめ

- (1) 幼児の発達と障がいの両面から実態を把握すること。
- (2) 行動の背景を考えて対応を検討すること。
- (3) 幼児の実態や対応を園全体で共有し、支援に繋げていく。

↓
個別の教育支援計画等

↓
幼児教育施設での取組を、次につなげる視点

27